学校番号	３１２

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　古典Ｂ　改訂版」　（大修館書店）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「全訳読解古語辞典　第五版」（三省堂） 「新精選　古典文法　改訂版」（東京書籍） 「わかる・読める・解ける　古文単語 330　三訂版」（いいずな書店） 「ルート古文２」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典への苦手意識にとらわれず、「読む」ことを通して理解を深めるよう取り組みましょう。
・必ず指示された予習は行い、授業に集中できるようにしましょう。その上で、口語訳に取り組み、自分で考えることをしましょう。そして、復習は必ずするように。
・古文での語彙を増やすために、単語帳は常に目を通しましょう。小テストも実施します。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	授業観察 ノート点検	定期考査 ノート点検	定期考査 ノート点検 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	説話	十訓抄	○	○	○	a: 登場人物それぞれの言動に込められた気持ちを読み取っている。 b:和泉式部の和歌にこめられた意趣返しの意図や技巧の優れた点について理解できている。 c:助動詞の用法を理解している。語句や表現に即して説話の展開を読み取ろうとしている。	授業観察 ノート点検 定期考査
	物語1	伊勢物語	○	○	○	a: 歌物語というジャンルの特徴や『伊勢物語』について，知識を身につけている。 b:出来事の経緯を理解している。 c:贈答歌それぞれに込められた心情について理解している。	授業観察 ノート点検 定期考査
	漢文	論語	○	○	○	a:話訓点に注意して正しく訓読や現代語訳をしている。 b:回が「賢なる」といわれている理由を理解している。師弟のやりとりから、どのような教えの話であるかを読み取れる。 c:再読文字の読み方が身についている。	授業観察 ノート点検 定期考査
2	物語2	大鏡	○	○		a:物語の内容を理解すると共に『大鏡』についてより深く知ろうとしている。 b: 本文を正しく読解している。 c:登場人物の様子から人物像を読み取っている。	授業観察 ノート点検 定期考査

	随筆2	『枕草子』 「中納言参り給ひて」	○	○	○	a: 『枕草子』の内容と作者について理解している。 b: 会話主とその内容を読み取っている。 c:この出来事を記す作者の心情を把握している。話の展開を理解すると共に登場人物の心理を読み取っている。	授業観察 ノート点検 定期考査
	漢文	史記 **鴻門之会**	○	○	○	a: 時代的・地理的背景を確認している。「鴻門之会」が開かれるに至ったいきさつについて理解している。 b: 語句・句法に注意して正しく現代語訳している。 c:登場する人物をストーリーの中で正確に把握している。	授業観察 ノート点検 定期考査 ワーク点検
3	随筆1	『方丈記』 「行く河の流れ」	○	○		a: 『方丈記』の内容と作者について理解している。 b:文中で語られる「無常観」に関して歴史的背景をふまえて把握している。	授業観察 ノート点検 定期考査
	随筆2	徒然草	○	○	○	a: 『徒然草』の内容と作者について理解している。 b: 事項・内容を本文に即して把握している。 c: 作者の花・月などについての美意識や恋の情趣についての考え方を理解している。	授業観察 ノート点検 定期考査
	和歌	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	○	○	○	a: 授業での理解をもとに，和歌への興味を深めている。 b: 声に出して読むことで，歌の持つ特性について理解を深めている。歌に詠まれている心情を読み取っている。 c: 各歌に用いられている修辞を理解している。	授業観察 ノート点検 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力
　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。